



閉校にあたって 長い歴史に幕を閉じ、新たな未来へ。

能代市立崇徳小学校

教頭 高橋 真也

地域に見守られ、多くの方々に支えられてきた我が崇徳小学校も、その長く輝かしい歴史に幕を降ろすこととなりました。学校はなくなりませんが、巣立っていく子どもたちがこれからも「崇徳（徳を崇（たかく））」の心を引き継いで、誇りと自信と感謝の心を忘れずに、次のステージへと力強く進んでいくことを願っています。

能代市立鶴形小学校

教頭 児玉 知行

閉校しても、家族や地域の方々の無償の愛に支えられて培った、「ふるさとを愛する心」が消えるわけではありません。本校での豊かな学びが、これからコミュニティ・スクールに大きく舵を切ろうとしている学校や地域を明るく照らす灯台となり、「鶴形の光を放つ」ことを心から願っています。

能代市立常盤中学校

教頭 島田 純二

昭和22年の開校から72年の歴史と伝統を刻み、3916人が学び舎を巣立っていきました。閉校式典では、本校と山谷分校、常盤寮については生徒が発表し、校歌制定前に歌われていた応援歌「常盤青年団歌」が同窓会から生徒23名に送られました。そして3月、地域の温かい支援に感謝し、常盤中学校の歴史に幕を閉じます。



編集後記

昭和64年1月7日のお昼過ぎ、人生初めての新しい年号の発表に、どんな興奮が待ち受けているのかと、テレビに釘付けになりました。あれから30年がたちました。今号が『平成』最後の「教育のしろ」の発行となります。これまでのたくさんの方々の皆様のご協力に感謝いたします。

(〇)



「地域に元気を届ける一中若21」
～いざ出発！全校生徒による音頭上げ～
H30. 9. 8 能代第一中学校



「やった！跳べた！」
～テクニカルサポート事業～
H30. 11. 14 湊城西小学校

輝きの場面